

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-290954

(P2005-290954A)

(43) 公開日 平成17年10月20日(2005. 10. 20)

(51) Int. Cl.⁷

E 0 6 B 3/90

E 0 5 F 15/10

F I

E O 6 B 3/90

E O 5 F 15/10

テーマコード (参考)

2 E O 1 5

2 E O 5 2

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2004-134885 (P2004-134885)

(22) 出願日 平成16年4月1日(2004. 4. 1)

(71) 出願人 500249431

重井 晴雄

大阪府枚方市宇山町 1 3 番 9 号

(72) 発明者 重井 晴雄

大阪府枚方市宇山町 1 3 番 9 号

Fターム(参考) 2E015 GA02 HA01

2E052 AA02 EA05 GA00 GB06 HA01

KA16 KA17

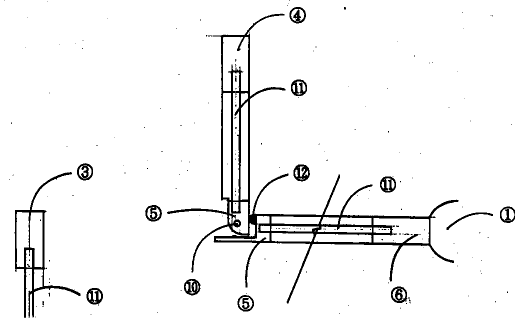
(54) 【発明の名称】 回転ドアに手足や身体が挟まったとき、ドア枠が折れ曲がる回転ドア

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】ドアの回転時、ドア外枠と外枠との小さな隙間に手足や身体が挟まれた時、怪我や圧死事故を防ぐ回転ドアを提供する。

【解決手段】回転ドアの回転時、手足や身体がドア外縦枠 4 と外枠 3 の隙間に挟まったり、引込まれた時、ドアの縦外枠 4 に設定以上の力が加わると上部から下部枠に設けたストッパー 1 2 が外れ、ドアの途中からドアが折れ曲がる事で、今までのドア枠 4 と外枠 3 との間の小さな隙間を大きな空間へと広がる事で、手足や身体が挟まっても、回転ドアがストップするまで、手足や身体に必要な空間を確保する事により、小さな隙間に挟まったり、引込まれるような事故を防ぐ事ができる。

【選択図】 図 4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転ドアの回転中、回転している内側のドア枠と固定されている外枠との間に人や物が挟まった時、一定以上の力が加わるとドアの途中が折れ曲がって、ドア枠と外枠との間に空間を設けて、事故を防ぐようにした構造の回転ドア。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【発明に関する技術分野】

【0001】

10

この発明は、ドアが回転し人が通過しようとする時にドア枠と外枠との隙間に手足や身体が挟まった時、センサーが作動し、回転ドアが止まるまでの間に、ドア枠と外枠との隙間に手足や身体が挟まり、事故になるのをドアの途中が折れ曲がって、外枠との間に緊急的な空間ができる事により、怪我や圧死事故などを防ぐ為の事に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の回転ドアは、センサーが感知し作動する事で、ドアの回転を止めるのみで、ドア枠と外枠の隙間に手足や身体が挟まっても、回転が止まるまで挟まれたり、引込まれたりして、ドア枠と外枠の隙間が広がる装置はなかった。

【発明が解決しようとする課題】

20

【0003】

これまでは、次のような欠点があった。

回転ドアが回転時に、ドア枠と外枠との隙間に手足や身体が挟まった時、センサーが感知して回転ドアが止まるまで、ドア枠と外枠の隙間に手足や身体が挟まったり、引込まれていたもので、本発明は、この欠点を取り除く為に考えられたものである。

【課題を解決する為の手段】

【0004】

ドアが回転中の緊急時、回転ドア縦外枠▲4▼に必要以上の力が加わった時、回転ドア縦中枠▲5▼から回転ドアの進行方向の反対方向にドアが折れ曲がり、回転ドア縦外枠▲4▼とそと枠▲3▼との隙間に臨時的な大きな空間を設ける事で、手足や身体が挟まれる事故を防ぎ、解決するように構成された構造の回転ドアである。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0005】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

今までは、回転ドアの回転時、回転ドア縦外枠▲4▼と外枠▲3▼との隙間に手足や身体が挟まれても、戸狭みセンサー▲2▼が感知、作動し、ドアの回転が止まるまでの間、手足や身体が隙間に挟まれたり、引込まれていたが、本機は、回転ドア縦枠に設定された以上の力が加わると、ストッパー▲12▼が外れて、回転ドアが止まるまでの間に、回転ドアのドア部分の途中（回転ドア縦中枠▲5▼）から回転ドアの進行方向の反対方向に折れ曲がる事で、回転ドア縦外枠▲4▼と外枠▲3▼との小さな隙間が大きな空間へと広がる構造で使用されるものである。

40

【発明の効果】

【0006】

回転ドアのドアが、途中から折れ曲がる事で、ドア外枠と外枠の小さな隙間が大きな空間に広がり、手足や身体が挟まれても、大きな事故につながらない様になる。

【図面の簡単な説明図】

【図 1】

回転ドア平面図

【図 2】

50

回転ドア立面図

【図 3】

回転ドア下枠断面図

【図 4】

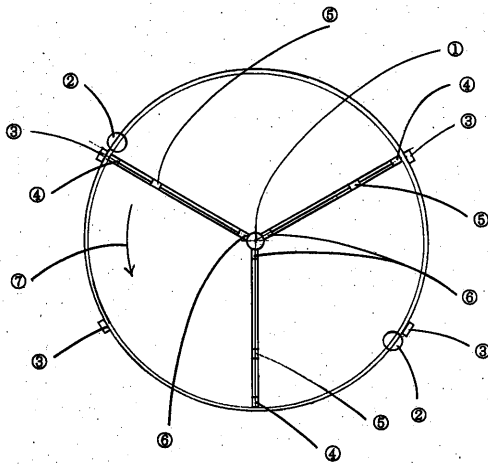
回転ドア下枠の開放時断面図

【符号の説明】

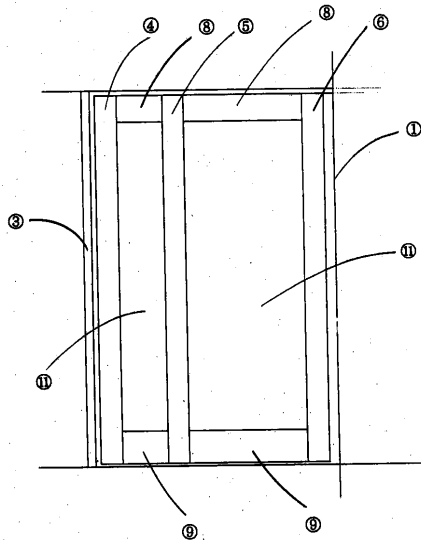
- 1 . ドア回転軸
- 2 . 戸狭みセンサー
- 3 . 外枠
- 4 . 回転ドア縦外枠
- 5 . 回転ドア縦中枠
- 6 . 回転ドア縦内枠
- 7 . 回転ドア進行方向矢印
- 8 . 回転ドア上枠
- 9 . 回転ドア下枠
- 10 . 回転ドア縦中枠軸
- 11 . ガラス
- 12 . 回転ドア中折ストッパー

10

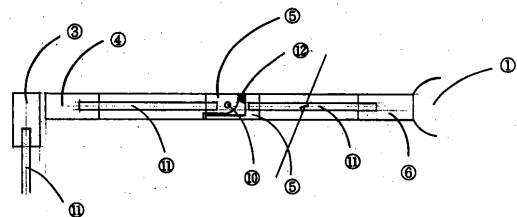
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【 図 4 】

